

平成28年度版

全国の山村留学実態調査報告書



NPO法人 全国山村留学協会

【本調査の概要】

本調査は主に山村留学実施地域を対象としており、昭和51年度より継続して実施しているものです。尚、現在の対象となる地域は、平成12年度文部科学省委嘱事業「山村留学と国内ホームステイ等の実態についての調査研究」を元に、毎年更新して決定しています。
平成28年度のアンケート配布地域数及び有効回答数は以下の通りです。

小学校・・・配布数106校(有効回答数98校、無回答等8校)

中学校・・・配布数51校(有効回答数45校、無回答等6校)

※無回答等は本調査内容には含まれていません。

【都道府県の地方区分について】

本調査では、一般的な八地方区分を採用しています。

北海道 北海道

東北 青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県

関東 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県

近畿 三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県、京都府、大阪府、兵庫県

中国 岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県

四国 香川県、徳島県、愛媛県、高知県

九州 福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

【本文中の表記について】

本文中では、山村留学の居住形態別に以下の分類及び表記を行っています。

里親方式 年間を通して主に里親宅で生活をするもの

寮方式 年間を通して主に寮で生活をするもの

併用方式 年間を通して、里親及び寮での生活を同程度行うもの

家族方式 留学生本人だけでなく家族等と移住するもの

山村留学データバンク



平成28年度は前年度に比べて留学生数が増加(小学生40人増、中学生25人増)し、新規及び継続生を合わせて544人となりました。これは、アンケート対象校の増加(71校→98校)が主な原因と考えられます。

山村留学が開設されてから40年以上が経過し、社会の変化とともに、山村留学に参加する青少年や保護者のニーズも多様化しています。そのため、核となる山村留学の教育理念を継承しつつも、新たなニーズに対応するための変化も求められつつあります。自然体験や集団生活だけでなく、プラスαの付加価値が必

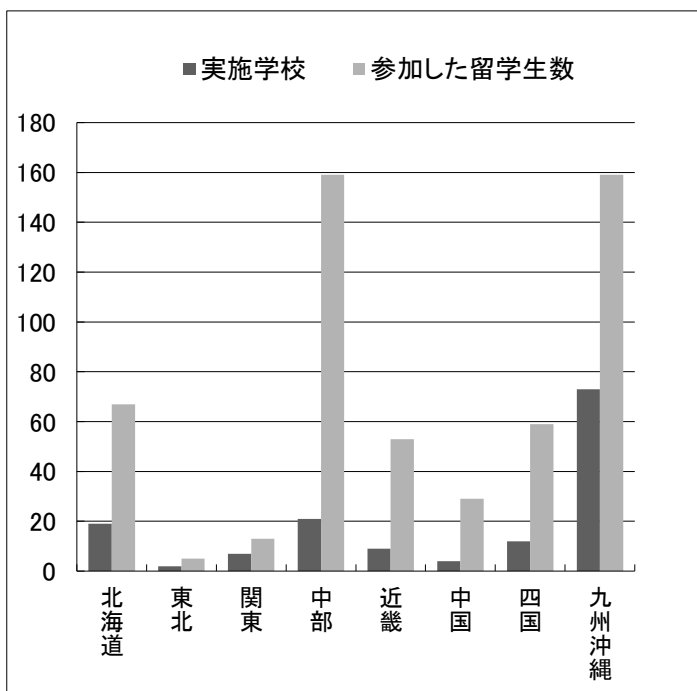
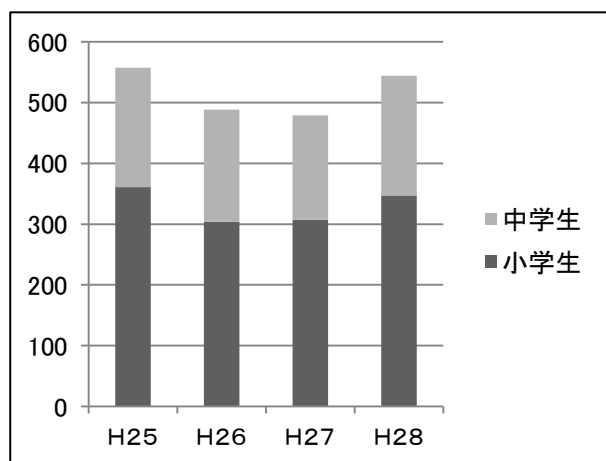
- 実施都道府県 22道府県 (留学生受け入れ21、受け入れなし1)
- 実施自治体 70市町村 (留学生受け入れ53、受け入れなし17)
- 小学校 98校 (留学生受け入れ69、受け入れなし29)
- 中学校 45校 (留学生受け入れ39、受け入れなし6)
- 小学生参加者 347人 (新規参加者229人、継続参加者118人)
- 中学生参加者 197人 (新規参加者67人、継続参加者130人)
- 参加者累計(昭和51年度～平成28年度延べ人数) 19,578人
- 山村留学体験者数(新規参加者のみの累計) 11,612人

▽地域別の山村留学実施校と受け入れ人数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
実施学校	19	2	7	21	9	4	12	73	147
受け入れた学校	16	1	2	19	6	4	9	51	108
受け入れなかった学校	3	1	1	2	3	0	3	22	35
参加した留学生数	67	5	13	159	53	29	59	159	544
一校平均の受け入れ数	4.2	5.0	6.5	8.4	8.8	7.3	6.6	3.1	5.0

▽小中学生別参加者数の推移(H25～H28)

	H25	H26	H27	H28
小学生	361	304	307	347
中学生	196	184	172	197
合計	557	488	479	544



山村留学実施市町村及び学校名 NO.1

Aは親元を離れた山村留学生数(里親、寮、併用):Bは家族で転居した山村留学生数(家族):無記入は受け入れなし 単位(人)

北海道		A	B
雄武町	共栄小		2
北見市	瑞穂小		
	瑞穂中		2
清里町	緑町小		1
黒松内町	白井川小		
鹿追町	瓜幕小	5	
	瓜幕中	3	7
新得町	富村牛小		1
	富村牛中		3
西興部村	上興部小		5
東神楽町	志比内小		7
日高町	里平小		
美深町	仁宇布小		2
	仁宇布中	6	5
平取町	振内小		3
	振内中		2
むかわ町	富内小		2
芽室町	上美生小		2
	上美生中	6	3
合 計		20	47

宮城県		A	B
丸森町	筆甫小		
	耕野小	5	
合 計		5	0

群馬県		A	B
上野村	上野小	7	
	上野中	6	
合 計		13	0

埼玉県		A	B
越生町	梅園小		
合 計		0	0

新潟県		A	B
粟島浦村	粟島浦小	4	
	粟島浦中	6	
合 計		10	0

山梨県		A	B
丹波山村	丹波中		2
早川町	早川南小		4
	早川北小		10
	早川中		11
合 計		0	27

長野県		A	B
阿智村	浪合小	12	
	阿智中	4	
売木村	売木小	7	
	売木中	3	
大鹿村	大鹿小		
	大鹿中		
大田市	八坂小	9	
	美麻小	5	
	八坂中	6	
	美麻中	11	
北相木村	北相木小	24	6
長野市	大岡小	8	
	大岡中	8	
泰阜村	泰阜小	9	
	泰阜中	10	
合 計		116	6

三重県		A	B
いなべ市	立田小		7
合 計		0	7

京都府		A	B
南丹市	美山小	8	
合 計		8	0

兵庫県		A	B
神河町	越知谷小	11	
合 計		11	0

和歌山県		A	B
紀の川市	鞆渚小		
	鞆渚中	2	
紀美野町	毛原小		20
	長谷毛原中		5
那智勝浦町	色川小		
	色川中		
合 計		2	25

島根県		A	B
大田市	北三瓶小	4	
	北三瓶中	7	
合 計		11	0

山口県		A	B
岩国市	本郷小	12	
	本郷中	6	
合 計		18	0

徳島県		A	B
那賀町	北川小		
美波町	由岐中伊座利分校		7
	伊座利小		5
合 計		0	12

愛媛県		A	B
砥部町	高市小	16	
合 計		16	0

山村留学実施市町村及び学校名 NO.2

Aは親元を離れた山村留学生数(里親、寮、併用):Bは家族で転居した山村留学生数(家族):無記入は受け入れなし 単位(人)

高知県		A	B
安芸市	東川小		
いの町	本川中	13	
馬路村	魚梁瀬小		3
	魚梁瀬中		2
大川村	大川小	1	
	大川中	10	
室戸市	中川内小		2
	中川内中		
合 計		24	7

福岡県		A	B
うきは市	姫治小	4	
宗像市	地島小	5	
八女市	星野小	10	
合 計		19	0

佐賀県		A	B
佐賀市	北山東部小	4	
合 計		4	0

長崎県		A	B
五島市	久賀小	2	
	久賀中	1	
合 計		3	0

宮崎県		A	B
西都市	銀上小	3	
	銀鏡中	11	
合 計		14	0

鹿児島県		A	B
阿久根市	田代小		
	大川小		
天城町	西阿木名小三京分校		
伊佐市	南永小		
出水市	上場小	1	
霧島市	中津川小		
	永水小		
薩摩河内市	鹿島小	3	4
瀬戸内町	秋徳中		2
	与路中		
	西阿室小		1
	伊子茂小		2
	与路小	3	
徳之島町	手々小	1	
	手々中	1	
十島村	中之島小		
	平島小		
	諏訪之瀬島小学校	2	
	宝島小		
	宝島小小宝島分校	4	
	悪石島小		
	口之島小		
	中之島中		
	平島中	1	
	諏訪之瀬島中	3	
	宝島中	3	
	宝島中小宝島分校	1	
	悪石島中	2	
中種子町	岩岡小	5	
西之表市	上西小	1	
	国上小		
	伊関小	1	
	安納小		
	安城小		
	現和小	2	
	古田小	1	

鹿児島県		A	B
日置市	日新小		
三島村	三島小	1	
	竹島小	2	
	大里小	1	
	片泊小	1	
	三島中	3	
	竹島中	4	
	大里中	2	
	片泊中	1	
南九州市	神殿小		
南種子町	荃南小	6	
	西野小	4	
	大川小	6	
	島間小	4	
	平山小	4	
	花峰小	6	
	長谷小	2	
屋久島町	永田小	4	6
	金岳小		1
	栗生小	1	2
	八幡小	1	
	金岳中	1	1
与論町	与論中		
湧水町	幸田小		
始良市	漆小		
曾於市	中谷小		
合 計		89	19

沖縄県		A	B
国頭村	安田小		5
渡嘉敷村	渡嘉敷小	2	
	渡嘉敷中	4	
合 計		6	5

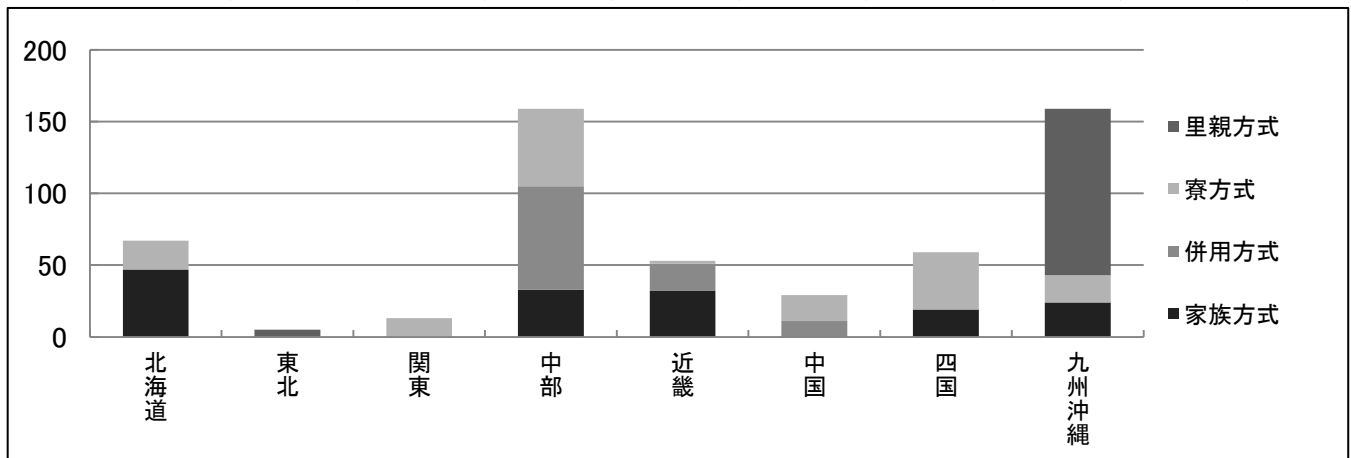
居住形態別データ



居住形態別の参加者数をみると、寮方式が166人と前年同様最も多くなっています。しかしながら前年比では1人減となっており、里親の高齢化等の問題から、ここ数年は全寮制の山村留学が注目されてはいるものの、寮の設置や指導員の配置等でコストがかかるため、寮方式での新規参入は難しく、受け入れ人数の拡大が図れない現状がうかがえます。一方で、家族方式は前年比37人増、里親方式は前年比13人増となっており、併用方式も中部を中心に、前年よりも16人増加しました。

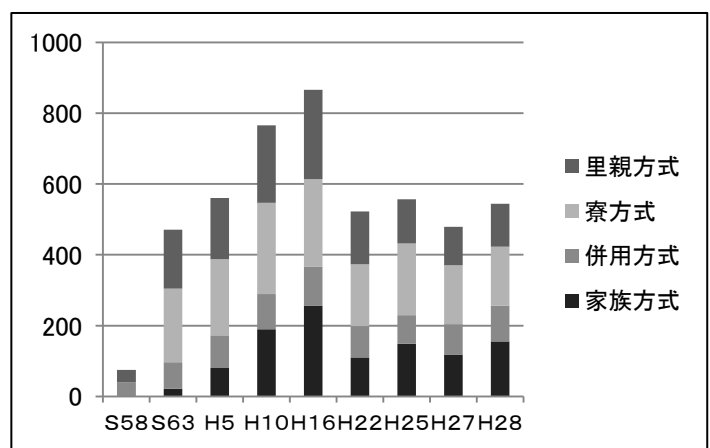
▽居住形態別の地域別参加者数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
里親方式	0	5	0	0	0	0	0	116	121
寮方式	20	0	13	54	2	18	40	19	166
併用方式	0	0	0	72	19	11	0	0	102
家族方式	47	0	0	33	32	0	19	24	155
合計	67	5	13	159	53	29	59	159	544



▽居住形態別参加者数の推移(S58~H27)

	里親方式	寮方式	併用方式	家族方式
S58	35	0	40	0
S63	166	208	75	22
H5	172	215	93	80
H10	219	258	99	190
H16	252	248	110	256
H22	149	174	89	110
H25	125	202	81	149
H27	108	167	86	118
H28	121	166	102	155



併用方式は、そのほとんどが中部地区に集まっている一方で、里親方式は約96%が九州・沖縄地区に集中しています。また、寮方式は全国に見られますが、家族方式は豊かな自然環境とイメージから北海道地区が最も多くなっています。長期にわたって比較的人数の変動がないのは併用方式や寮方式で、施設運営によるコスト高や併用による里親確保という課題はあるものの、里親方式よりは地域の負担も軽く、持続性がうかがえます。

学年別・男女別データ



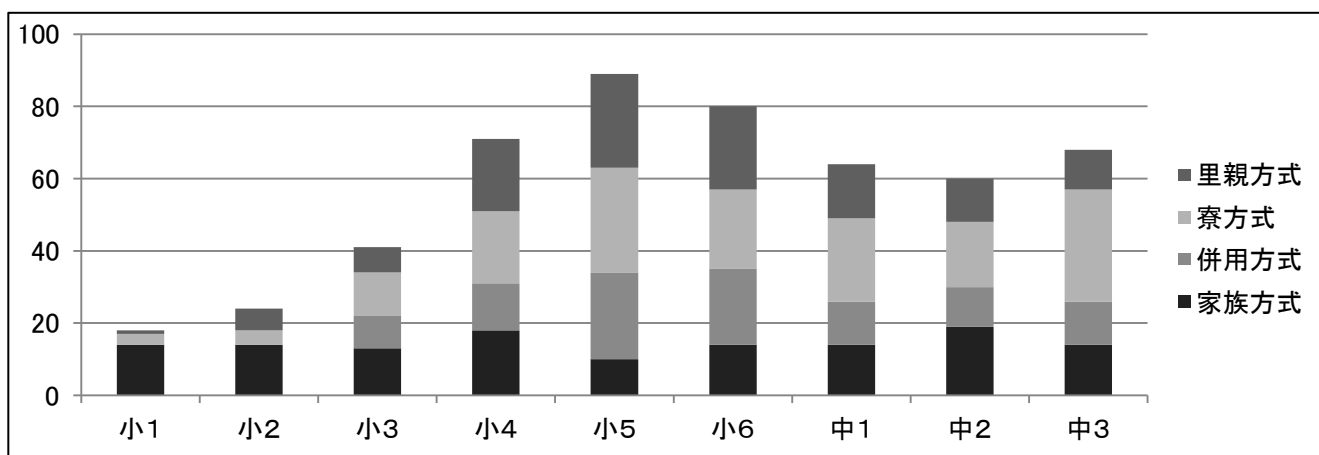
学年別では小5(89人)が最も多く、次いで小6(80人)、小4(71人)、中3(68人)となっています。

小中別に見ると、小学生では全体の約69%が小4～小6に集中し、小1～小3では家族方式が約49%を占めています。また中学生では、寮方式が全体の約36%と最も多く、その他はほぼ同じ割合になっています。

全体的には、家族方式を除いては、小3頃から山村留学生が増加する傾向にあります。

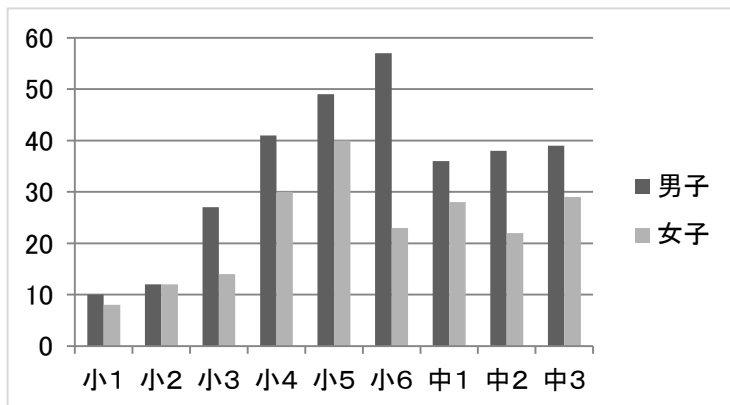
▽居住形態別の学年別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	不明	合計
里親方式	1	6	7	20	26	23	15	12	11		121
寮方式	3	4	12	20	29	22	23	18	31	4	166
併用方式	0	0	9	13	24	21	12	11	12		102
家族方式	14	14	13	18	10	14	14	19	14	25	155
合計	18	24	41	71	89	80	64	60	68	29	544



▽学年別の男女別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計	不明
男子	10	12	27	41	49	57	36	38	39	309	29
女子	8	12	14	30	40	23	28	22	29	206	
合計	18	24	41	71	89	80	64	60	68	515	544



全体では男子が309人(60.0%)、女子が206人(40.0%)となっており、前年度に比べて4%ほど女子が増加しています。

ここ数年の傾向としては、若干女子の比率が高くなってきており、平成26年度(35.4%)、平成27年度(36%)、平成28年度(40%)と変化してきています。

また、学年別では、男子は小6がピークであるのに対し、女子は小5がピークとなっています。

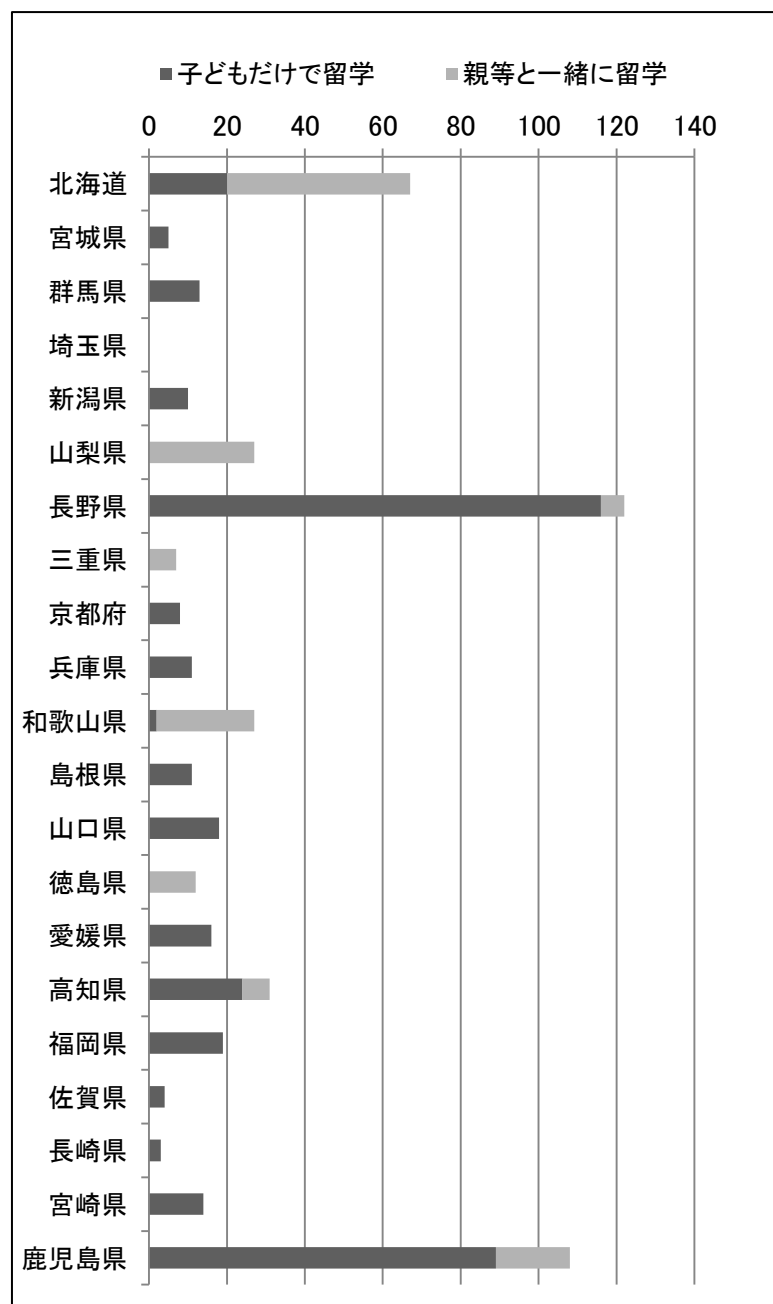
都道府県別の山村留学受け入れ人数

- 平成28年度の山村留学参加者数は544人で、うち子どもだけで留学した参加者数は389人(71.5%)、親等と一緒に留学した参加者数は155人(28.4%)です。
- 受け入れ人数が多い都道府県は、長野県(122人、4人増)、鹿児島県(108人、6人増)、北海道(67人、3人減)です。
- 子どもだけで留学した参加者数が多いのは、長野県(116人、5人増)、鹿児島県(89人、3人減)です。
- 親等と一緒に留学した参加者数が多いのは、北海道(47人、1人減)のほか、山梨県や和歌山県、鹿児島県が多くなっています。

※人数比較は前年度と比べた数字

▽都道府県別の留学生受け入れ人数

	子どもだけで留学	親等と一緒に留学	合計
北海道	20	47	67
宮城県	5	0	5
群馬県	13	0	13
埼玉県	0	0	0
新潟県	10	0	10
山梨県	0	27	27
長野県	116	6	122
三重県	0	7	7
京都府	8	0	8
兵庫県	11	0	11
和歌山県	2	25	27
島根県	11	0	11
山口県	18	0	18
徳島県	0	12	12
愛媛県	16	0	16
高知県	24	7	31
福岡県	19	0	19
佐賀県	4	0	4
長崎県	3	0	3
宮崎県	14	0	14
鹿児島県	89	19	108
沖縄県	6	5	11
合計	389	155	544



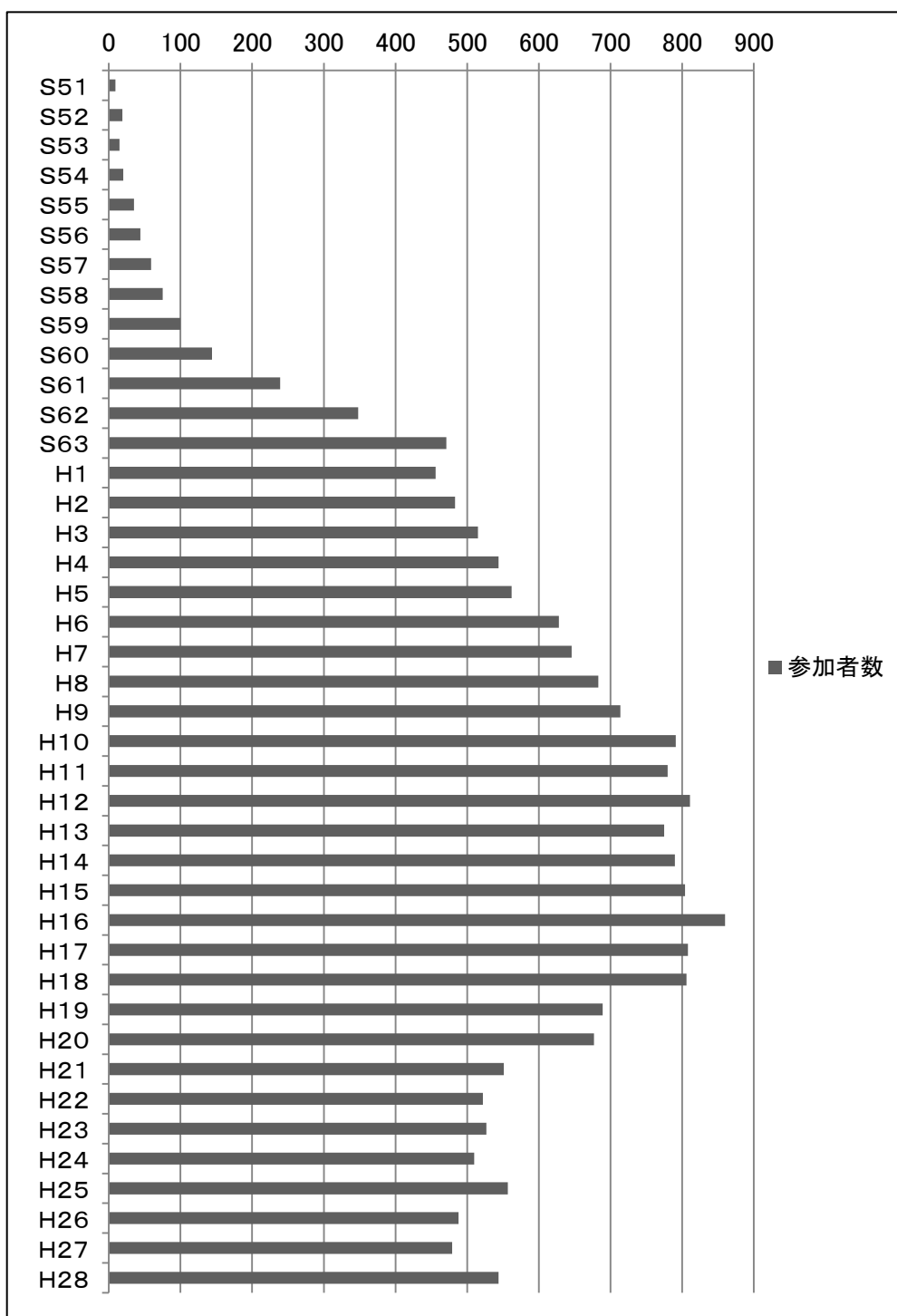
41年間の山村留学参加者数の推移

昭和51年度に長野県八坂村(現大町市)で日本初の山村留学が実施されて以後、41年間の参加者数の推移です。一時800人を超えた参加者数も、自治体合併や里親の高齢化、地元児童生徒数の減少、学校統廃合等により受け入れ学校も減少に転じ、平成26年度には500人弱となりました。しかしながら、平成28年度は544名となっています。

ピーク時に比べて受け入れ校は減少してきてはいますが、新たに開設されたり、長年にわたって実施している地域に安定的に留学生が集まっていることが、今回の調査における増加傾向に繋がったと考えられます。

▽山村留学参加者数の推移

年度	参加者数
S51	9
S52	19
S53	15
S54	20
S55	35
S56	44
S57	59
S58	75
S59	100
S60	144
S61	239
S62	348
S63	471
H1	456
H2	483
H3	515
H4	544
H5	562
H6	628
H7	646
H8	683
H9	714
H10	791
H11	780
H12	811
H13	775
H14	790
H15	804
H16	860
H17	808
H18	806
H19	689
H20	677
H21	551
H22	522
H23	527
H24	510
H25	557
H26	488
H27	479
H28	544

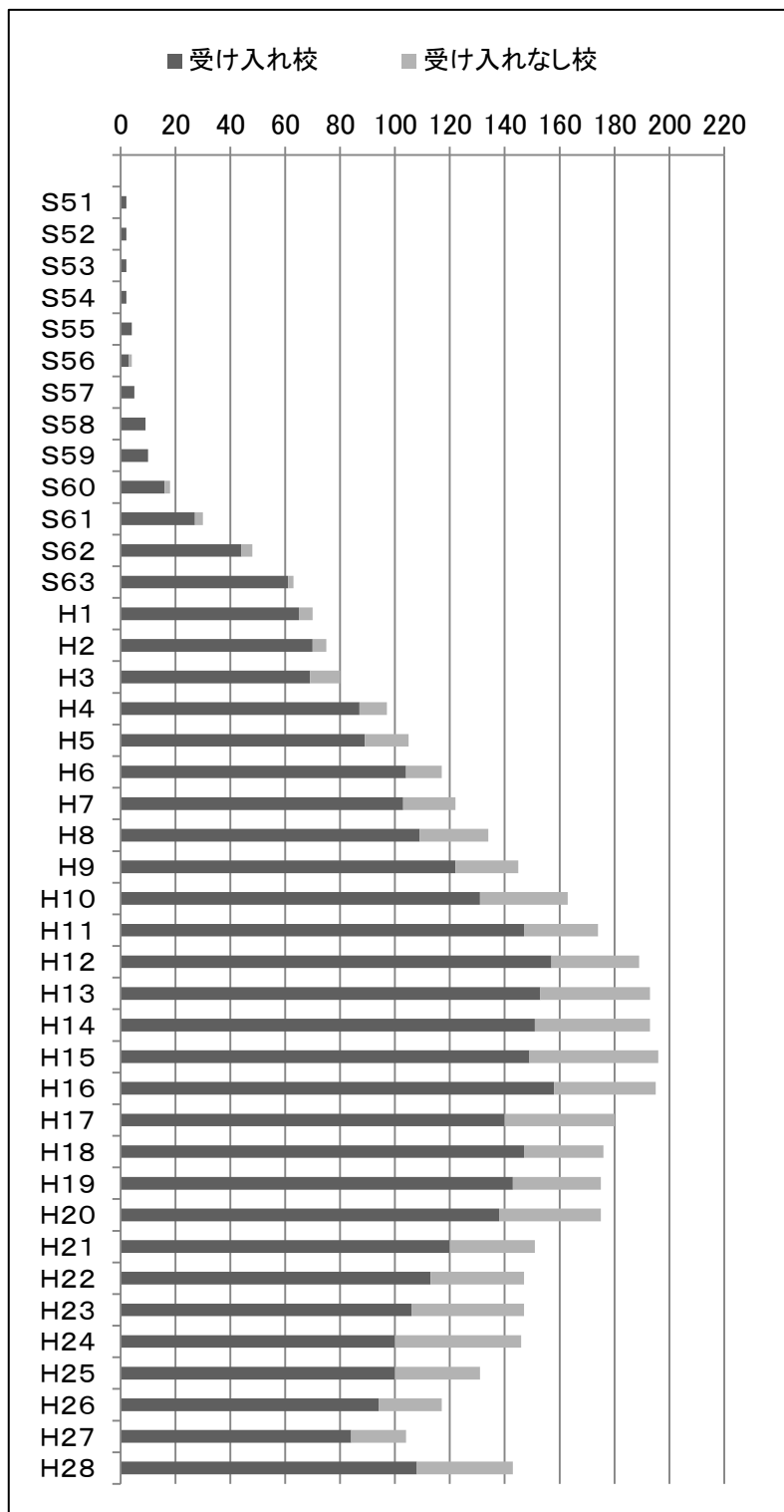


41年間の山村留学実施校の推移

山村留学実施校は昭和60年度頃から増加し、一時は200校弱で推移しています。山村留学を中止した学校は平成3年頃から目立ち始めましたが、開設した学校もあり大きな減少にはなっていません。その後、平成17～21年度は、学校統廃合や自治体合併等の影響からか、中止する学校の方が多くなっていましたが、平成28年度においては新たに参入するケースもみられ増加する結果となりました。

▽受け入れ校数と受け入れなし校数の推移

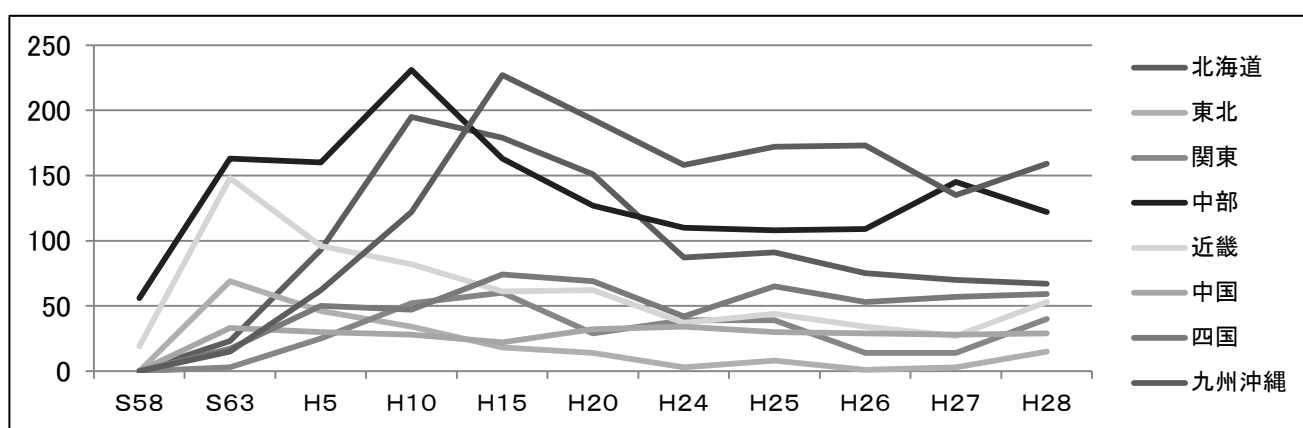
年度	受け入れ校	受け入れなし校	合計
S51	2	0	2
S52	2	0	2
S53	2	0	2
S54	2	0	2
S55	4	0	4
S56	3	1	4
S57	5	0	5
S58	9	0	9
S59	10	0	10
S60	16	2	18
S61	27	3	30
S62	44	4	48
S63	61	2	63
H1	65	5	70
H2	70	5	75
H3	69	11	80
H4	87	10	97
H5	89	16	105
H6	104	13	117
H7	103	19	122
H8	109	25	134
H9	122	23	145
H10	131	32	163
H11	147	27	174
H12	157	32	189
H13	153	40	193
H14	151	42	193
H15	149	47	196
H16	158	37	195
H17	140	40	180
H18	147	29	176
H19	143	32	175
H20	138	37	175
H21	120	31	151
H22	113	34	147
H23	106	41	147
H24	100	46	146
H25	100	31	131
H26	94	23	117
H27	84	20	104
H28	108	35	143



41年間の参加者数の推移(受け入れ地域別・居住形態別)

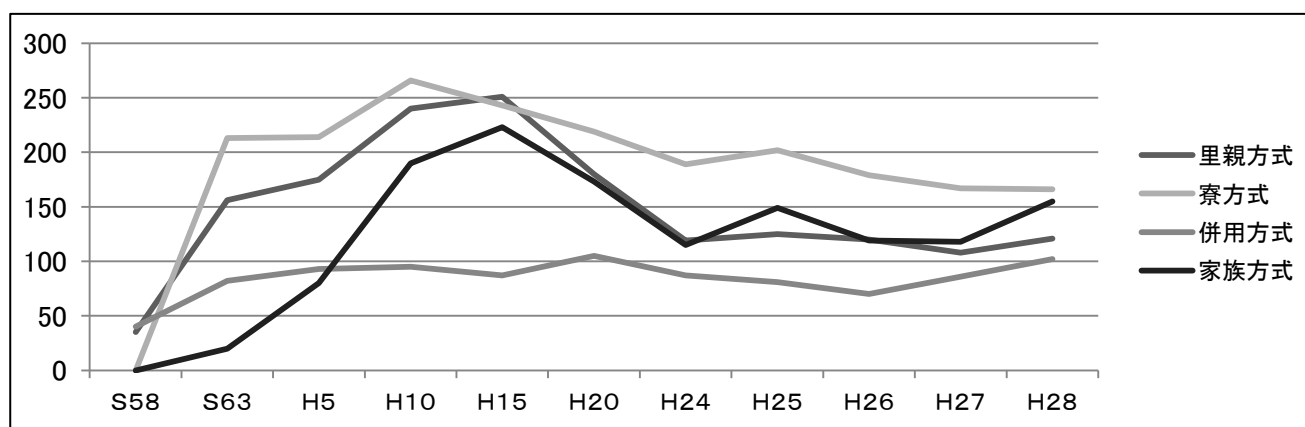
▽受け入れ地域別に見た参加者数の推移

	S58	S63	H5	H10	H15	H20	H24	H25	H26	H27	H28
北海道	0	23	93	195	179	151	87	91	75	70	67
東北	0	69	46	34	18	14	3	8	1	3	15
関東	0	3	25	52	60	29	39	39	14	14	40
中部	56	163	160	231	163	127	110	108	109	145	122
近畿	19	148	96	82	61	62	37	44	34	27	53
中国	0	33	30	28	22	32	34	30	29	28	29
四国	0	17	50	47	74	69	42	65	53	57	59
九州沖縄	0	15	62	122	227	193	158	172	173	135	159
合計	75	471	562	791	804	677	510	557	488	479	544



▽居住形態別に見た参加者数の推移

	S58	S63	H5	H10	H15	H20	H24	H25	H26	H27	H28
里親方式	35	156	175	240	251	180	119	125	120	108	121
寮方式	0	213	214	266	243	219	189	202	179	167	166
併用方式	40	82	93	95	87	105	87	81	70	86	102
家族方式	0	20	80	190	223	173	115	149	119	118	155
合計	75	471	562	791	804	677	510	557	488	479	544



平成28年度版 全国の山村留学実態調査報告書

平成29年11月

編集発行：NPO法人全国山村留学協会

〒180-0006

東京都武蔵野市中町1-6-7-5F tel:0422-56-0595 fax:0422-56-0351

info@sanryukyo.net

<http://www.sanryukyo.net>